

# きたほ. No.593 12月号 2024 Hot Line

特集 | 今年で10回目の『税の絵はがき展』  
次世代とともに考える租税の意義



# 税の 絵はがき展

今年で10回目の『税の絵はがき展』  
次世代とともに考える租税の意義



国税庁では、毎年11月11日～17日を『税を考える週間』としています。これは、租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解をさまざまな広報活動を通じて国民に深めてもらうために実施されるもので、期間中は税への理解を深めるさまざまなイベントが各地で実施されます。

国税庁によるこのような活動は、昭和22年に申告納税制度が導入されたのちに国税局が発足された昭和24年当時、納税者の不満が多く聞かれたことが発端でした。その後、円滑な税務行政には納税者の協力が不可欠ということで、昭和29年から『納税者の声を聞く月間』が設けられ、幾度の改称ののち、現在の『税を考える週間』に至っています。

仙台北法人会でも毎年恒例イベントとして『税の絵はがき展』を開催しており、今年で10回目を迎えました。今年、『税を考える週間』をより多くの方々に周知させようということで、昨年より早い10月27日(日)に仙台市青葉区のせんだいメディアテークで実施しました。

## 大人も子どもも関わる、税のこと 少しでも向き合う時間を

秋晴れの澄んだ青空のもと、12時半の開会に合わせて会場の準備やリハーサルが進むなか、まずは本イベントの告知を兼ねて街頭キャンペーンを行いました。

冒頭、当会の菅原裕典会長より「11月にはじまる税を考える週間を事前にみなさんに知っていただくために、ひとりでも多くの方に、税をちよつとも考えていただけるように明るく元気よくいきましよう」とあいさつがあり、用意されたおよそ3000個のティッシュとチラシを街頭で配布しました。配布後は仙台北税務署の丸山俊行署長より「今日は晴れたよい気候のなかでティッシュ配りを行うことができました。ありがたいございました。」とのことばで街頭キャンペーンは終了しました。

続いて会場ではオープニングイベントとして、仙台育英学園高等学校書道部のみなさんによる、税をテーマとした書道パフォーマンスが披露されました。作品制作で全国大会にも

出場するなどの実力を持つ同部は、「東北絆まつり」でも書道パフォーマンスを披露するなどの多岐にわたる活躍をし、今回も太鼓や笛の音色の荘厳な雰囲気なかで勢いのある作品を披露してくれました。

オープニングイベントのあとはよいよ、第10回税の絵はがき展のスタートです。開会のあいさつとして、菅原会長より「仙台北法人会は税の啓発活動、租税教育活動、社会貢献活動を積極的に進める経営者の団体です。法人会における税の啓発活動は、時代を担う子どもたち、児童のみなさんに、税の重要性を正しく理解し、関心を持っていただくために、青年部会、女性部会による小学校の租税教室を実施しています。今回は多くの子どもたちに絵はがきを描いていただきました。多くの方に見ただけのように、広く市民の方に足を運んでいただけるように、これからもみなさんに税を考える機会にしたいと思っています。」とあいさつがありました。





## 大人が見落としがちな 着眼点鋭い作品が勢揃い

続いて、公益社団法人仙台北法人会による令和6年度『第17回税に関する絵はがきコンクール』の表彰式です。応募者の想いが描かれた629点の応募のなかから仙台北税務署長賞を受賞したのは仙台市立南吉成小学校6年の加藤明(めい)さん。働く人々や公園、森林などが描かれた中央に『税金は幸せで返ってくる』とのコピーを配置したデザイン。もともと絵を描くことが好きだったそうですが、受賞については「まさか受賞するとは」との思いだったそう。で、「税金を払うというのは自分たちのお金だからマイナスになるイメージに感じますが、市や県の人たちがわたしたちのためにいろいろなことに使ってくれているので、結局はわたしたちのもとに返ってくるんだよ、というのを伝えたいと思いました。」と話してくれました。

さらに仙台北地区税務関係団体協議会による令和6年度『税に関する高校生の作文』

では、仙台第三高等学校2年の後藤駿典さんが『日本の水の綺麗さ』を主題とした作品で会長賞を受賞。インドの水質汚染のニュースを見て、日本の住みやすさや水の綺麗さは税金が使われているおかげで保たれているのだと痛感し、税金の大切さを日常でなかなか気づけていなかったなと思、今回の作品を執筆したのだそう。各作品とも大人の我々も考えさせられる題材揃いでした。

続いては、仙台市立向陽台小学校の『ひまわり吹奏楽団』の演奏です。宮城県吹奏楽コンクール、東日本学校吹奏楽大会など今年さまざまな大会でも活躍した54名のみなさんは、『仲間とともに』という文字が描かれたお揃いのTシャツを着て、校歌や同校50周年記念歌をはじめ、テレビアニメでおなじみの曲などバラエティに富んだ曲目を大人顔負けの堂々とした演奏を披露してくれました。



## メインイベントの『租税教室』では 児童たちが見ているリアルな世界が

そして残るは、このイベントで毎年恒例となった『租税教室』です。租税教育活動の一環として仙台北法人会青年部会によって仙台南内、富谷市内の小学校でも行われているこの『租税教室』は、仙台北法人会青年部会の完全オリジナルとなつているため、「ぜひうちの小学校にも来てほしい」との声をいただくほど好評をいただいているプログラムです。今年度は15校の学校で実施しました。今回は、先に演奏を披露してくださいました仙台南立向陽台小学校の児童を中心としたプログラムでしたが、「飛び入りですが参加できますか？」と声をかけてきた方もいらつしやるほど、税に対しては関心が強いようで、会場いづばいに14個のテーブルを設けるほど注目を集めました。

さて、冒頭から参加者に向けて「税ってどう思う？」の質問が投げられました。「必要ない」「必要だ」「わからない」の3択のなか、「必要だ」と答えたのは大人よりも児童のほうが多く、また、「どのような税金があるか」の質問に児童

からの第一声がなんと「固定資産税」！さらに、日本にある税金の種類も「50種類」くらいと言いつつ、大人よりもむしろ児童のほうが税金に関心を持っている様子でした。ウォーミングアップとしての質問のあととさつそく各テーブルに並べられたボードを使つてのゲームがスタート。このゲームは、各チームが市長になつたつもりで住みやすい街を作っていくというものです。駅や市役所を中心とした繁華街と川を挟んだ遠隔地などが設けられた図面に、『郵便局』『介護施設』『銀行』『パン屋』などの店舗や施設のカードを置いていき、チーム内で話し合いながら街を形成していくのですが、ここで問題となる

のは、社会情勢や地域イベントとの兼ね合いです。新春初売り、インフルエンザ発生、窃盗団発生、台風襲来などさまざまな発生する事案に合わせたカードが貼られていければポイントが加点されるのですが、なければ減点。最初は意気揚々としていた児童たちのテーブルも減点されていくうちに意気消沈…。児童たちの成績は各テーブルとも拮抗した様子でしたが、最後に優勝したチームはやはり堅実な大人チームでした。参加した児童たちは「面白かったけど、でも自分たちの考えた街のほうがいい」「消防署じゃなく警察署があればいいじゃん」などと、悔しがりながらも参加した児童たちはみんな楽しんでいました。租税教室は終了しました。



最後に丸山署長より、「楽しい音楽やゲーム、自分も楽しませてもらいました。税はみなさんのために使われるものであつて、自分たちのためだけではないので、それをみなさんが勉強していついていただけたらと思います。みなさんもこれから大人になっていくうえで、さまざまな社会の仕組みを知る必要が出てきます。そのためにも税も勉強していただけたらと思います。」とのあいさつで、今回の『税の絵はがき展』は終了しました。

冒頭の街頭キャンペーンや絵はがきコンクールの表彰式などさまざまな場面でお手伝いいただいた「せんだい杜の都親善大使」の八巻楓香さんに今日の感想を伺ったところ、「税を考える週間ということで、今回初めて知ったことで、改めて税のことについて考えていこうと思ひ、帰宅したあとともいただいた資料を読み返して学んでいきたいと思ひます」との言葉をいただき、今回の『税の絵はがき展』ではさまざまな年齢や立場の方がそれぞれの想いを再認識できたイベントとなりました。

公益社団法人 仙台北法人会



## 理事会を開催

10月22日(火)、江陽グランドホテルにおいて通常理事会を開催し、業務執行理事の業務報告や新入会員、理事との取引等の議題が上程され、審議の上、承認されました。また、支部並びに委員会、部会から事業報告がなされ、なかでも10月27日(日)開催の「税の絵はがき展」の開催に向けた準備状況について、開催途中で租税教室の会場レイアウトに転換するなど、本会、女性部会、青年部会が連携して準備を進めていることを公益事業推進委員長から報告がありました。



## 委員会を開催

10月7日(月)、エスポールみやぎにて、第2回公益事業推進委員会(日下邦明委員長)が開催されました。広報、HP、事業の小委員会から活動報告がありました。主要議題である「税の絵はがき展」の開催に向けた準備、令和7年新春講演会の講師選考を協議しました。

10月11日(金)、仙台北税務署にて、第4回税制委員会(向山豊委員長)が開催されました。主要議題である仙台市への「令和7年度税制改正・行財政改革要望」について、要望内容を最終協議しました。

10月11日(金)、エスポールみやぎにて、第7回広報小委員会(山田宗基委員長)が開催されました。主要議題である広報

誌12月号、新年号について、企画内容を協議しました。ホームページ小委員会(佐々木一徳委員長)の小委員長も出席し、広報の充実について課題等の共有を図りました。

10月15日(火)、エスポールみやぎにて、第3回総務委員会(扇功委員長)が開催されました。主要議題である理事会提案の「税の絵はがき展」や「理事との取引」等を協議しました。

10月17日(木)、エスポールみやぎにて、第5回事業小委員会(片桐健司委員長)が開催されました。主要議題である「税の絵はがき展」について、開催に向け、会場レイアウトや運営の最終点検を行ないました。



10月7日 公益事業推進委員会



10月11日 広報小委員会



10月17日 事業小委員会

## 『清掃奉仕活動』を実施！

宮城支部(富樫利和支部長)では、去る10月20日(日)7:00～「みやぎ仙台商工会愛子ひろせ西支部・商工会宮城地区女性部」との共催により、社会貢献活動の一環として『清掃奉仕活動』を行いました。

当支部から、お子さんも含め38名の皆様に参加・ご協力をいただき、JR愛子駅～セブンイレブン仙台錦ヶ丘店周辺までの区間を約1時間掛けて清掃いたしました。

早朝からのご協力、感謝申し上げます。



インターネットセミナー 500タイトル以上のセミナー動画が見放題!!

専用コンテンツID・PW/「ID:hj1201」「パスワード:0151」

<https://kitaho.or.jp/>

仙台北法人会

検索



## 令和6年度『第17回税に関する絵はがきコンクール』入賞者発表!

仙台北税務署長賞



かとう めい  
**加藤 明 さん**  
(仙台市立南吉成小学校 6年)

仙台北法人会長賞



くまがい なぎさ  
**熊谷 凪紗 さん**  
(富谷市立あけの平小学校 6年)

仙台北法人会女性部会長賞



みわ はるこ  
**三輪 晴子 さん**  
(仙台市立錦ヶ丘小学校 6年)

### 入賞



きしま いぶき  
**木島 維吹 くん**  
(仙台市立錦ヶ丘小学校 6年)



きはた ゆら  
**木幡 優徠 さん**  
(富谷市立富谷小学校 6年)



ひの ゆめ  
**日野 ゆめ さん**  
(仙台市立上杉山通小学校 6年)



なかむら みく  
**中村 美公 さん**  
(仙台市立上杉山通小学校 6年)



きしま みさき  
**木島 彩来 さん**  
(仙台市立錦ヶ丘小学校 6年)



こじま ももか  
**小島 百叶 さん**  
(仙台市立上杉山通小学校 6年)



みうら まな  
**三浦 真奈 さん**  
(仙台市立上杉山通小学校 6年)

## 『就活生応援事業』を開催!

青年部会会員大募集中!詳しくは→ <https://www.kitaho.or.jp/yg88>

青年部会(齋藤恵太部会長)では、去る9月2日(月)13:00~「(学)三幸学園 仙台医療秘書福祉&IT専門学校」にて「就活生応援事業」を開催いたしました。

当事業は社会貢献委員会の企画・運営にて、「就活生と経営者の交流会」と題し、地元企業が求めるIT人材についての理解を深めることを目的といたしました。

当部会メンバーでもある地元企業の経営者とIT関連を学ぶ学生たちで、グループディスカッションを通じて企業が求めるITスキルや地元での就職の魅力につい

て話し合いました。特に、企業が重視するのはスキルだけでなく、人柄やコミュニケーション能力であることが強調され、学生たちは就職活動を前に新たな視点を得ていたようでした。

参加した学生からは「スキル以上に人柄が重要だと感じた」との声が多く、今後の就職活動における目標設定や準備の参考となる貴重な機会になったのではないのでしょうか。



## 支部別会員数 2024年10月31日現在

## 法人会入会のお声かけをしよう!

黒川  
**221社**(±0)

泉東  
**231社**(±0)

泉西  
**211社**(±0)

宮城  
**159社**(+1)

北西  
**313社**(±0)

中央  
**244社**(+1)

北東  
**297社**(+2)


管轄外の賛助会員  
**86社**(+1)

合計**1,762社**(+5)

※( )内は先月末からの増減 ※管轄外の賛助会員は、仙台北税務署管轄外に所在する法人及び個人等。

イーネンチョウ  
\\ いいね!!e-年調 /



# 年末調整手続の電子化で 業務の効率化



みなさん!年末調整の業務を効率化してみませんか?

何をすればいいですか?

答えは、**年末調整手続の電子化!**

## 年末調整手続の電子化のメリット

勤務先(給与の支払者)	従業員(給与所得者)
<ul style="list-style-type: none"> <li>①関係書類の配付や回収が不要!</li> <li>②控除額や添付書類のチェックが簡単!</li> <li>③会社のシステムへの手入力作業が不要!</li> <li>④書類の保管場所も不要!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①手書きでの書類作成が不要!</li> <li>②控除額はソフトが自動計算!</li> <li>③テレワーク中の従業員も提出可能!</li> <li>④マイナポータル連携を利用すれば、保険料等の証明書をまとめて取得可能!</li> </ul>

その安心で、  
企業とともに未来をつくる。

**企業保障**

DAIDO 大同生命  
仙台支社/  
宮城県仙台市青葉区大町1-1-1  
(大同生命仙台青葉ビル3F)  
TEL 022-221-5486

経営を取り巻く様々なリスクから企業を守る!

**Business Guard**

AIG損害保険株式会社 仙台支店 TEL.022-221-2532

取得済の上乗せ補償  
ハイパー任意労災  
ALL STARS  
火災と地震災害に備える  
プロハイパーガード  
+企業地震保険  
個人情報の漏えい事故対策  
情報漏えいガード  
(個人情報漏えい保険)

Afiac「生きる」を創る。

仙台総合支社  
〒980-6122 仙台市青葉区中央1-3-1 アエル22階  
TEL 022-0120-876-505

発行所/公益社団法人 仙台北法人会 発行人/会長 菅原 裕典  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目3番22号(仙台ビルディング6階) 電話/022(263)0151 FAX/022(268)0205  
編集/公益事業推進委員会 委員長 日下 邦明 印刷/笹氣出版印刷株式会社  
きたほHotLineは皆様の会費によって製作されています。

きたほ  
**Hot Line**



最新情報はホームページへ  
<https://kitaho.or.jp/>

仙台北法人会 検索